

週刊 学びのコミュニティ

第11号

平成21年4月30日発行

学生さんのこえ

Vol.1

第8号にて社会人の方の声をお届けしましたが、今回は学生さんの声をご紹介します。これはあくまでも“声”のほんの一部。今後もたくさんの声を集め、みなさまにお届けしていきたいと思っています。

Q. 社会人の方と一緒に学ぶ良さは？

社会に出られて、いろいろな経験をされているので、その実際の経験を聞けることが、すごくいい経験になる。また、学生だけだと“分かる人～質問ある人～”と尋ねられた時に、黙ってしまいがち。その点社会人の人は活発に発言してくれるので、それに引っ張られて学生も発言しやすくなる。授業に積極的に参加することが出来、いい効果があると思う。

Q. 社会人の方がオーバートークキング過ぎる…と感じることは？

そう感じる学生も中には居ると思うが、自分はそうは思わない。経験を大いに語って欲しい。

Q. 社会人の方は、学生さんがもっと遠慮せずに意見をぶつけて欲しいと望んでいますか…？

未熟な自分が、経験豊富な人に対して意見を言っているのかと思ってしまう。でも、それを越えられたらよりよい関係になるはず。

学生さんにとって、“人生の先輩”の生の声を聞くことは、非常に貴重で、参考になると思っていることが分かりました。また、社会人の方だけでなく、教員とも語り合う機会を求めていることも知りました。大学内だと研究室のドアを叩いてまでは雑談しに行けない、質問がないのに訪ねていいものか…と躊躇してしまうとのことでした。人生の先輩方（社会人、そして先生方）、学生さんたちに語るだけでなく、学生さんたちの声に耳を傾けてみて頂けたらと思います。

～編集後記～

若葉が萌え、爽やかな季節になりました。いよいよGWが始まります。楽しい予定に胸を弾ませている方も多いのでは？どうぞ体に気を付けて、素敵な連休をお過ごしください。（境）

Q. 2月の市民フォーラムに参加して良かったことは？

学生、先生、社会人、いろいろな人が一同に会したので、いろいろな意見を聞けたり、たわいのない話の中からためになる話を聞けたりしたこと。大学に居て、先生と語り合うという場面はなかなかないし、もし語りたと思ったら、研究室のドアを叩かないと先生とお話出なかつたりするので、ああいう機会があれば、自由に、壁を感じずに話すことが出来る。

Q. 今後もフォーラムを開催していきたいが、どんな形にしたいか？

先生の司会進行だとどうしても堅苦しくなってしまう。大学という枠組みから離れ、アットホームなものにして、もっと自由に意見を言い合えるようにするためには、学生主体で進行していったらいいのではないかと思う。

